

「自然体験活動指導者養成研修会」

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
[後援] 九州各県・政令指定都市教育委員会
[協力] 野外教育研究会 I O E
[期間] 平成24年11月23日(金)～11月25日(日) 2泊3日
[実施場所] 国立阿蘇青少年交流の家 他
[参加者] 【所属】 青少年教育施設 8人 学校教職員 2人 民間団体 3人 学生10人
一般 2人
【性別】 男子14人 女子11人
[講師] 国立阿蘇青少年交流の家 所長 久保田康雄 氏
熊本大学教育学部 教授 古賀 倫嗣 氏
野外教育研究所 I O E 代表理事 山口 久臣 氏
社会福祉法人ふるさと 理事 北嶋 淳朗 氏
国立阿蘇青少年交流の家 研修指導員 薄井 良文 氏
国立阿蘇青少年交流の家 次長 道喜 智昭 氏

1 趣 旨

阿蘇の雄大な地域資源を活用しながら「小学校の1週間程度の体験活動」において、教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラムの計画立案の助言、活動時の全体指導や事業評価を行う指導者の養成を目指す。



2 目 標

- (1) 青少年の自然体験活動の意義や目的を理解する。
- (2) 自然体験活動の基礎的な知識・技術を身につける。
- (3) プログラム作成の基本的な留意点ができる。



3 事業展開

(1) 研修プログラム

日程	午 前	午 後	夜
1 日目	開会行事 実習 「自然体験活動の技術」 (アイスブレイキング) 講義 「教育活動と体験活動の関連」	講義 「学校教育における体験活動の意義」 講義・演習 「自然体験活動の企画運営」	講義・演習 「自然体験活動の指導法」
2 日目	講義・実習 「自然体験活動の安全管理」 (危険予知)	講義・演習 「自然体験活動の指導法」 講義・演習 (ネイチャーゲームなど) 「自然体験活動の技術」 (野外調理)	講義・実習 「自然体験活動の安全管理」 (救急救命法)
3 日目	講義・演習 「自然体験活動の企画運営」 講義・演習 「アクティビティの実施と改善」		

(2) 目標達成のための工夫

① 指導体制の充実

大学や関係団体から専門的な講師を招聘し、学校教育における体験活動の意義、救急救命、危険予知トレーニングなどを実施した。それぞれの講義・演習においては、その分野の専門家に講師を依頼し、体験活動の必要性や実践的な知識や技能を学ぶことができるようにした。

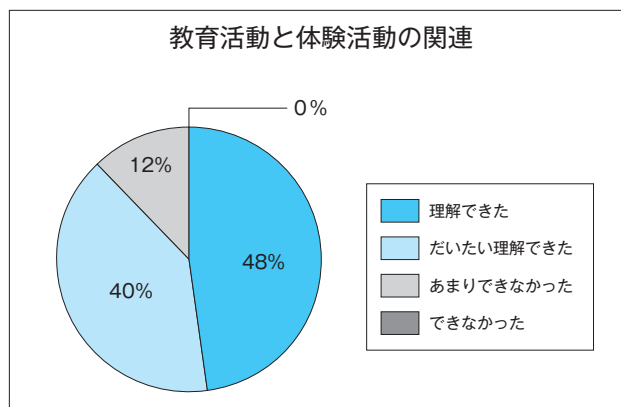
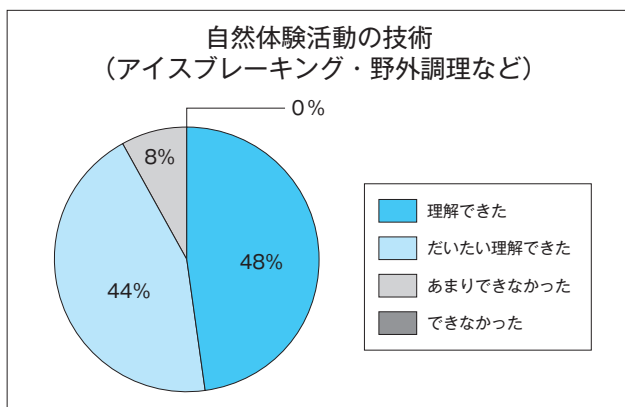


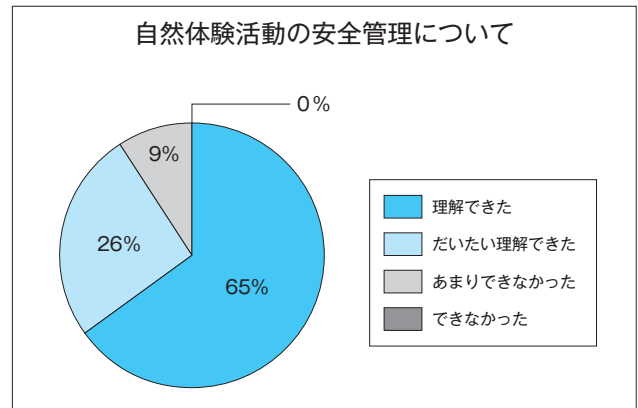
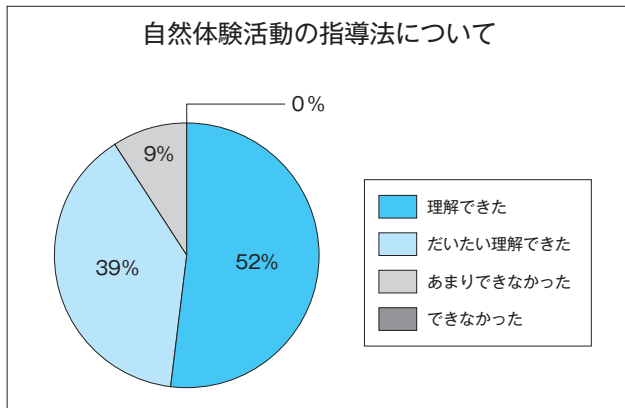
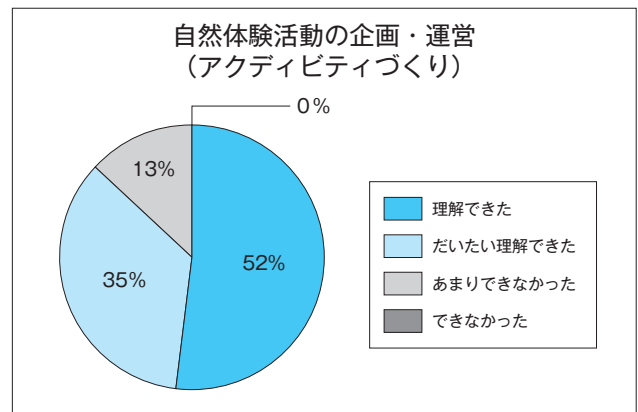
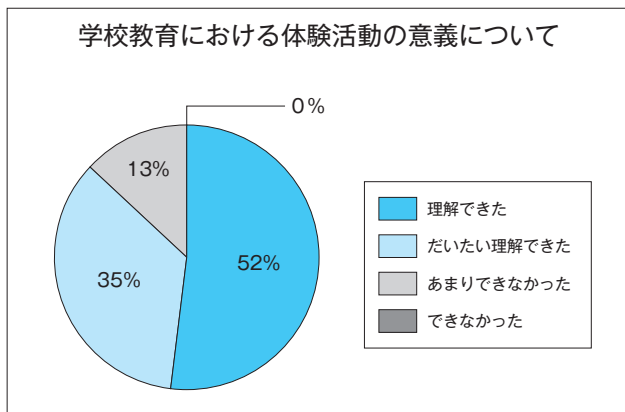
② ワークショップやグループ討議などを取り入れたプログラムの充実

参加者が意欲的に取り組み、本研修会終了後、いろいろな場所で学んだことを実践できるよう、具体的で実践的な内容を提供した。また、いろいろな立場での情報交換、意見交流ができるようにグループ編成を工夫した。

4 結果

アンケート調査の結果は次のとおりである。





【参加者の声】 (アンケートより)

- 他の参加者と強いつながりの中でたくさんの刺激を受けることができてよかった。
- 様々な年齢、県、団体の参加がありよかった。
- スモールステップで学習でき、自分のスキルアップを実感できた。
- 研修を受けただけではパーフェクトではない、これから実践できるように自分の修練を積んでいきたい。
- 安全管理、救命救急の研修をもう一つ上のレベルでやってほしい。
- 一つの研修にもっと時間が必要だと思う。

5 成果と課題

(1) 成果

- ① 大学や関係団体から講師を招き、ワークショップやグループ討議など、体験活動をとおした研修が多かったため、具体的でわかりやすく、充実した研修となった。
- ② 意図的に、一般の方や大学生、学校教員、社会教育施設職員でのグループワークをとおして、様々な考えや情報を伝え合い、共有しながら研修を深めることができた。
- ③ 阿蘇の大草原を生かしたプログラムや阿蘇の食材を使った野外調理など、地域の特徴を生かしたプログラム運営ができた。



ネイチャーアートの作品

(2) 課題

① 九州各県から参加者を募るため、各県教育委員会や関係団体と更に連携していく必要がある。また、学習指導要領にも「体験活動の充実」が提示されていることから、教職員の参加を増やすためにも、開催期日やプログラムの内容など、早めの情報提供に努めなければならない。

② 野外での研修を充実させ、より一層阿蘇の自然環境を生かした有意義な研修会にする必要がある。

③ 日程にもう少し余裕を持たせてほしいという要望が多かった。開始や終了の時間を工夫して対応していきたい。



講義の様子



閉会式あとの集合写真